

クッションジョイ



取手市立戸頭中学校
学校だより 5月号
平成22年4月27日

順調なスタートをきりました

平成22年度が始まり、早3週間が経過しました。

多くの生徒が、前向きに諸活動に取り組んでいる様子を目にしてうれしい限りです。特に3年生、最高学年として、戸頭中を引っ張っていき、進路実現に向けてがんばろうとする気概を感じています。1年生もだいぶ中学校生活に慣れたようです。2年生も明るく学習に、運動に取り組んでいます。

さて、「五月病」という言葉がありますが、ちょうどこの時期、疲れが出やすい時期です。心も体もリフレッシュしてほしいものです。「食」は「人を良くする」と書きます。家庭では、おいしい食事をお願いします。そんなことは言っても、6月の市郡総体に向けて、各部とも練習試合やら各種大会参加と忙しい時期です。悔いの残らない試合になるように、学習と運動の両立を目指し、最後の踏ん張りを期待しています。

職員も、生徒達に寄り添い、がんばっています。ご協力をお願いします。

また、授業参観、PTA総会、学年学級懇談会には多くの皆様のご参加をいただきありがとうございました。

【本年度の重点目標】

学習意欲を高め、学力の向上を図る。
基本的な生活習慣の確立を図る。



各先生は、それぞれの持ち味を生かして、上記の目標達成に向けて様々な手立てを講じていきます。

例えば、学力の定着のために家庭学習の習慣化を図る。そのために、「毎日、家庭学習ノートを提出する」取組を行う学級もあります。家庭でも一声かけてください。

子ども達の悪いところは、気がきがちで注意をしてしまうものですが、**よい点やできたところを積極的に誉めたいものです。**赤ちゃんの頃、「一言おしゃべりができた」「一歩、歩くことができた」と喜んでいた頃のことを思い出してみてください。子ども達は宝です。子どもがいて、初めて親になれるのです。

誉めることは子どもを伸ばすことにつながります。興味をもった、ある本について紹介します。

「水は答えを知っている」江本 勝 サンマーク出版

水に肯定的な言葉かけ(ありがとう、かわいいねなど)を続けると、きれいな結晶ができる。逆に否定的な言葉かけ(ばかやろうなど)を続けると、結晶が崩れてしまうと、結晶の写真とともに記述されています。

(以下抜粋)以前、私が主宰している雑誌の読者の方が、こんな実験をしてくれました。二つのガラスピンにご飯を入れ、一つのピンには「ありがとう」、もう一方のピンには「ばかやろう」と声をかけるのです。これを一か月の間、毎日続けると、ご飯にどのような変化が出るか調べてみました。……………

一か月後、「ありがとう」という言葉をかけたご飯は発酵した状態で、麴のような芳醇な香

連休となります。学校でも指導しますが、事故がないようご家庭でも声かけをお願いします。

本年度は、一学期中間テストを5/18(火)に実施します。計画的な学習を!!!